

企業のSDGsの理解や取組は広がる一方で、単なる紐付けで終わるのではなく、SDGsの根本的な思想への理解と経営への実装が求められています。今回はそのようなSDGsの基本理念や企業が取り組む意義、推進していくうえでの思考法等についてセミナーを開催しました。

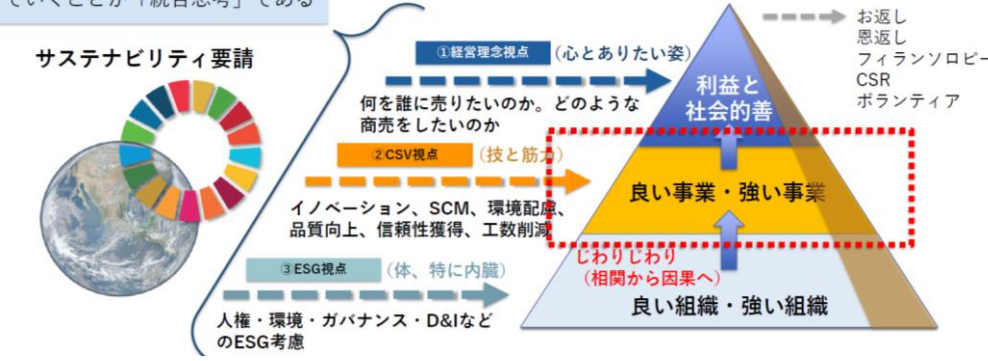
●プレゼンテーション SDGパートナーズ(有) 田瀬代表

- SDGsが目指す世界像及びストーリーの主な4要素
「世代を超えて」「すべての人が」「自分らしく」「よく生きられる」
- SDGsの大きなビジョンを実現するには、人も企業もパーパス(存在意義)の明確化が必要。



- 企業がSDGsに取り組む理由
 - 大義) 企業は継続的に利益を得ながら、社会に善をなすべきだから
 - 小義①) SDGsは世界の変化を先取りするものであり、イノベーションと新市場の源泉である
 - 小義②) 顧客は環境や人権などSDGsに適った製品やサービスを求めている
 - 小義③) 優秀な人財は企業のサステナブルな組織運営に関心を持っている
- 企業は統合思考に則った経営を行なっていくことが重要

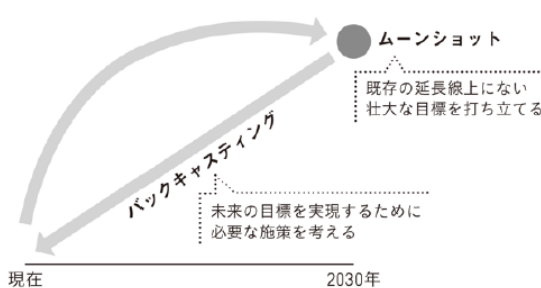
これら3つを一貫した論理で考えていくことが「統合思考」である



出所：田瀬代表の講師資料から引用

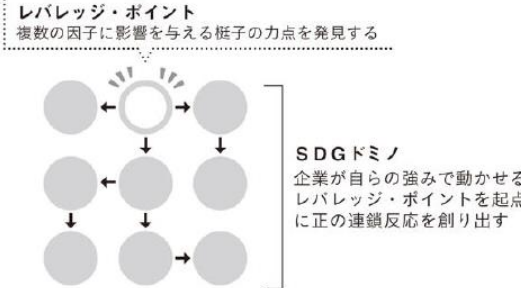
SDGsが与える2つの思考法

1. 逆算思考 (SDGsサンドイッチ理論)



出所：田瀬代表の講師資料から引用

2. 連関思考 (SDGsドミノ理論)



●参加者からのコメント等 (165名参加)

SDGsマッピングや優先課題の選定まで出来ている企業においても、目指す姿からのバックキャストの考えや行動は今後の大きな課題となると感じた。

「SDGsに取り組んでいます」だけでは足りない。SDGsを経営戦略として「利益を上げていく」という必要性をお伝えいただき、大変勉強になった。

SDGsがただのきれいな事で、商売と切り離されたもののように感じていたが、そうではない事が分かった。また、「目の前の問題をどうするか」だけでなく、「そもそもこの問題をなくすにはどうすれば良いか」を同時に考えていく事が重要だということは様々な事に言える事だと思った。下請け業者は、具体的にどのような取り組みができるのかを知りたかった。

SDGsの思想について、文章で読んだり、「身近でできること」を考えていくことはしていましたが、基本的な思想について詳しく知る機会がなかったため、よい機会となった。工場などの技術を伴う職種ではないので、CO2削減等大規模なことはできないが、日常的にできる小さなことから取り組み、社会に貢献していきたい。

